

# 令和と REIWA

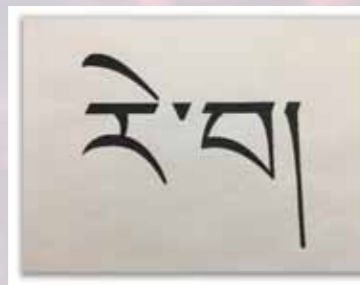
「チベット語の文字は、端正で綺麗ですね」  
私の幼馴染み（翻訳家）からお便りがありました。

チベットの知人から元号についてのメッセージがあったとのこと。

ダライ・ラマ師も祝福されておられるとのこと。ご紹介いたします。

新しい元号（令和）おめでとうございます。  
日本国民にとって、希望に満ちた将来でありますように。

チベットでは Reiwa は、「希望」という意味です。希望を持ちなさいとか、希望をすてないようになど、老若男女問わず使用しております。この元号は、チベット人の希望にもつながりますように。



私たちも、チベットにも平和で希望に満ちた時代が戻りますよう努力するとともに、祈ります。

殷・周時代の古代文字から独創的で体系的な漢字の起源を解き明かした第一人者・故白川静博士。その白川文字学により、「令和」を解説すると、「令」は、象形で神官が冠をつけてひざまずいて神意を聞いている形。元々は「神のおつげ」、そこから「おふれ」「おしえ」がある。そして、「よい、ただし、めでたい」という吉祥の意味があったのです。

「和」は、会意で「禾」+「口」で表わされます。「禾」は軍門（陣営の門）の印、「口」は「誓いを収めた器」とされる。軍門の前で講和の誓い

を行うと「平和」になり、また「調和する」意味が、希望に繋がります。

つまり「令和」は「すばらしく、なごやかな時代」と読み解かれるというのです。嬉しいですね。相手を尊敬し、清らかで美しい次代を築きたいものです。

また、「令和」が、台湾語読みで、「你們好」。つまり、「皆さん、こんにちは」と挨拶します。ポルトガル語は単語の頭の R を発音しないので「ヘイワ」になり、スペイン語では巻き舌で、「スタート」の「レイワ」になる。

ハワイ語で「花冠の時代」  
ヘブライ語では「ふるまい」  
そして、ラテン語で頭文字を L 読みの leiwa で『神からの贈り物』というありがたい意味があるそうです。

世界中の人々から愛され、神仏より祝福される音韻から、共通する前向きで明るい言霊（ことだま）があるのですね。

改元が、良き時代の到来ととらえて、令和の意味のように生きて、日本が、世界が平和になりますように祈り、そして行動したいものです。

みなさま、合い言葉は、愛言葉、「レイワ！！」

2019.4.1.  
まほろば主人

photo:Naoki Ikeda

# 令和

まほろば主人 書

まほろばオリジナル飴「八七六飴」  
(50 g 入り) ¥400



## NEW 「八七六飴」再開!!

先日、50個入荷。即完売だったのが、3月の私の講演会で、この「八七六飴」を御紹介し、試食して頂いたせいであろつか。その時、「コンステレーション」(constellation) として心理学用語でこの飴の必然性を説かせて戴いたが、「八七六」は省略。

「八七六飴」は、元から用意された名前でもなく、飴でもなかった。つまり、最初に「七五三塩」を作り、次に「二三糖」を作り、相互には何の脈絡もなく、関連性もなかった。塩は塩、砂糖は砂糖で独立したもので、たまたま互いに漢数字を使ったネーミングが一致しただけ

だった。ただ、飴を作りたい、それも「塩飴」という発想があった。未だ、世の中に塩飴なるものが無かった時だった。当然、まほろばの塩と砂糖を使うことになる。それで、小樽のアメやさんの飴屋さん(本名)に依頼したら、果糖の飴は初めて、世界でも無いでしょう、といわれた。そして、その扱いすらも天下一品で、溶けやすく、とてもこれは難物も難物ということで、季節限定となった次第。その後、ソフテリアで小島さんが懇ろに一つ一つ仕上げ、これは数量限定にして好評を頂いていた。その後、小島さんが店前担当になり、後任の亀谷さんも退社し、誰も手を付けられない状態で、銘菓はお蔵入りとなった。

それを、復活させたのが、パテシエ永井さんだ。その天才たるゆえんは、設定温度によつて、夏場も溶けないことを発見したことだ。与えられた課題を突き詰め、それを物にする閃きと実験精神には恐れ入る。飴の形状も、アトランダムに不定形に裁断して欲しい旨を伝えると、何処にもない、実に小気味好い感じで仕上がって帰って来た。

塩と砂糖の配分比も、微妙に調整し

て伝えると、甘からず、しょっぱからず、麻粉がオブラートを包み込むように、舌に優しく、喉越しよろしく、胃にもたれない。

それは砂糖と塩の取り合わせという単純な組み合わせではなく、砂糖8種類×塩18種類、計144以上の相互の組み合わせ、掛け合わせの一大シンフォニーが口腹の中で奏でられていくからだと思う。単純なように複雑極まりなく、微妙例え難し。さらにカナタ産オーガニックの麻の実、それとペルーのインカインチ粉、そしてエリクサー水で仕上げた自然由来食品。

そして、それは数秘に満ち満ちている。横にしても斜めにしても七五三と一二三を足して八七六なることの偶然。八は無限大の∞、七は幸運をもたらすラッキーナンバー、六は六世星で調和と安定を意味する。「いやしろ、弥盛」と読める吉祥。人や動物を活性化させる良き土地の「イヤシロ地」。人を癒す甘露「癒し露」。

「八七六飴」は、狙って出来たものではない、偶然の産物なのだ。大いにこの再誕を祝福したい。

(まほろば主人)